



Kouryo 隆 雲 High School

〒031-0011 青森県八戸市田尚二丁目2番6号／電話 0178-44-3866／FAX 0178-43-9077
<https://kouryo-high-school.com>／メール kouryo@chibagaku-en.ac.jp

第47回卒業証書授与式



耕司先生をはじめ、3年生を受け持っていた先生方も参列しました。また、在校生は代表者を除く2年生のみ別室にて参加しました。今年度就任された堀内英男校長先生は、一人一人の顔を見つめ、感慨深げに卒業証書を手渡されました。校長先生は式辞の中でも、3年生に初めて会ったときのこと、生徒一人一人が自身の元気の源であったこと、そして家族にとって、学校にとつて皆が「命の煌き・希望」であったことを強調されました。

マスクを外して臨んだ生徒たちの顔をじっくり見つめると、時折声を詰まらせることがあった校長先生は、誰もが平等に与えられている時間の大切さをはなむけの言葉として贈った。在校生代表として出席した山家昌悟君（2年・平塚市立沢中学校出身）は、

「先輩の目から流れる嬉しさは後輩たちの憧れへと変わる」と、先輩方への憧れとこれから向陵を背負っていく決意を詠んだ。卒業生代表の小笠原智也君君（3年・市川中学校出身）は、卒業式は新たなスタートの第一歩とし、さらなる飛躍を誓い、答辞を締めくくった。



3月1日(水)、第47回卒業証書授与式が挙行されました。昨年同様、新型コロナウィルス感染拡大防止対策のため、出席者を限定し規模を縮小して執り行われた。式には前校長の清野耕司先生をはじめ、3年生を受け持っていた先生方も参列しました。今年度就任された堀内英男校長先生は、一人一人の顔を見つめ、感慨深げに卒業証書を手渡されました。校長先生は式辞の中でも、3年生に初めて会ったときのこと、生徒一人一人が自身の元気の源であったこと、そして家族にとって、学校にとつて皆が「命の煌き・希望」であったことを強調されました。

マスクを外して臨んだ生徒たちの顔をじっくり見つめると、

時折声を詰まらせることがあった校長先生は、誰もが平等に

与えられている時間の大切さをはなむけの言葉として贈った。

在校生代表として出席した山家昌悟君（2年・平塚市立

沢中学校出身）は、

「先輩の目から流れる嬉しさは後輩たちの憧れへと変わる」と、先輩方への憧れとこれから向陵を背負っていく決意を詠んだ。卒業生代表の小笠原智也君君（3年・市川中学校出身）は、卒業式は新たなスタートの第一歩とし、さらなる飛躍を誓い、答辞を締めくくった。

会場内の全ての人気がマスクだった入学式。

クラスメイトの顔さえよくわからなかつた。

手取りの高校生活。

行事は中止または縮小。

お昼は自分の席で黙食。

でも、仲間との学校生活は楽しかつた。

バス遠足も中止。

修学旅行は延期するも結局行くことは叶わなかつた。

でも、仲間との絆は深まります。

マスクの下はいつも笑顔だった。

卒業式。マスクなしで臨んだ。

幼かった顔も少し大人になつた。

声を出して歌をなかつた。

校歌を心に刻む。

仲間と過ごした学び舎に笑顔があふれる。

さあ踏み出そう！新たな一步！

さらなる飛躍を誓い、今飛び立とう



先日、これまでの自分を振り返る機会がありました。その時に、ふと疑問に思ったことがあります。人生は何日あるのか。その問い合わせは、一般的に三万日。私たちは、その中の三パーセントである、約千日を向陵高校で過ごしました。千日前の私たちは、入学式で真新しい制服に身を包み、新生活への不安から、緊張の面持ちで入場しました。学校生活では、慣れないこともありました。しかし、徐々に互いを尊重する雰囲気が生まれ、準備を進める中で、協調して行動することを学びました。決して、良い作品を作れた訳ではありませんでしたが、考え方、気持ちが大きく変わった瞬間でした。

八百日前、初めての向陵祭がありました。しかし、徐々に互いを尊重する雰囲気が生まれ、準備を進める中で、協調して行動することを学びました。決して、良い作品を作れた訳ではありませんでしたが、考え方、気持ちが大きく変わった瞬間でした。

七百日前には、二年生に上がり、後輩ができました。しかし、関わり方が分からず、苦労したことがありました。私は、軽音楽部に所属していて、ギターの弾き方を教えていました。そのとき、どこまで教えて、どこまで考へてもららうのかの線引きが難しく、とても悩みました。それでも、先輩を手本とし、自分なりに模索しながら、少しずつ関係の築き方を憶えていきました。

三百日前、私たちは、三年生になりました。これまで培ってきた信頼関係のおかげで向陵祭や体育祭といった大きな行事で結果を残すことができました。向陵祭では、これまでに得た、毅力協心の精神を持ち続け、納得のいく作品を作り上げることができました。役割を決め、意見の主張と受け入れを積極的に行つた結果だと思います。これらは、一年生の頃、できなかつたことです。この二年間で、私たちは交友を深め、それぞれの特性を理解するため、コミュニケーションの取り方を徐々に工夫していきました。体育祭は、それが頭著に表れ、三学年の二クラスが一位、二位になれました。

そして、今日。高校生活も残りゼロ日。数分程度しかありません。私たちがこの千日間の高校生活で得た、信頼できる仲間、尊敬できる先輩、頼れる後輩、たくさんお世話になった先生方。これらは何にも代えられない人たちです。

それから、お父さん。お母さん。いつも一番側で支え続けてくれました。ただただ感謝しかありません。向陵高校に通わせて貰えてありがとうございました。

あれは、春という鮮やかな光。(ACIDMAN『式日』より)
 卒業式は、高校生活の残りゼロ日。でも、人生で考えると、新たな一步、一日目でもあります。私たちは、これから別々の道を好みますが、親の声が聞けないこと、友人と会えないこと、見慣れた風景を見れなくなることは、決してありません。離れるのは、物理的な距離だけです。

それから、お父さん。お母さん。いつも一番側で支え続けてくれました。ただただ感謝しかありません。向陵高校に通わせて貰えてありがとうございました。

友達と笑い合つた放課後の風景は常に頭の中にあります。
 そして、私たちはどれだけ時間が経つと
 いつまでも変わらない笑顔をする。

私たち卒業生は、向陵高校で過ごした三年間を一瞬に刻み、さらなる飛躍をここに誓い、今飛び立とう。

令和五年 三月一日
 卒業生代表 小笠原 智也



先輩方は私たちの憧れ



三年生の皆さんへ、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表して、心からお祝い申し上げます。

A young man in a dark school uniform with a white shirt and a striped tie is speaking into a black microphone. He is holding a piece of paper in his left hand. The background is dark, and the lighting highlights him and the microphone.

向陵高等学校新聞

最後になりますが、私が一年生の頃、選手権大会で負けた時の思いを、国語の授業で詠ん
し訳ないとは思っていますが、私たち二年生が、優勝することができるだらうと思つていました。
した。当日も前半の個人競技は、順調に進み、優勝を確信していましたが、後半の団体競技
では見る見る差を縮められ、最後には追い抜かれました。結果は三年生の優勝、準優勝。
二年生は惨敗でした。この体育祭から、もちろん個人も大事ですが、それ以上に全員で協力
することがより大切で、その団結力が大きな成果を手にすると、三年生から学
ぶことができました。

だ歌を紹介します。

先輩の目から流れる悔しさは後輩たちのバネへと変わる
ですが、今日は悔しい日ではないので、こう詠みたいと思います。

先輩の目から流れる嬉しさは後輩たちの憧れへと変わる

先輩方のクラスのように、団結力のある、クラスやチーム、学校にしていきたいと思いま
す。卒業生の皆さんのご健勝とさらなるご発展を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさ
せていただきます。

令和五年三月一日

在校生代表 山家 昌悟



2年生進路ガイダンス

3月9日(木)、JSコーポレー

3月9日（木）、J.S.コーポレーションのショーンのご協力のもと就職、進学に分かれて2年生進路ガイダンスが行われた。進学希望者は、分野別に会われ専門学校の先生方からそれぞれの学校の魅力や、その先はどういう仕事に繋がるかなど、わかりやすく説明していただいた。ある程度、進路を決めていたという中島唯斗君は、「分野ごとに詳く説明して聞い

【さくらは明確に「たよせた気がします」と意志を述べた】

カルタで学習

3月10日（金）、1年生の公共の授業でカルタを行った。カルタは、資源・エネルギー分野の学習の一環として、担当の吉田守夫先生と生徒たちが作製したもの。教科書にあるキーワードをあげ、そのキーワードの説明や出来事をまとめ読み札とし、その後、読み札を合計3つずつ、





精勤堂

1年	板橋 高際	宙 真愛
	楓華 (三条中学校出身)	(白銀南中学校出身)
	嶺 (根城中学校出身)	
	茉純 (根城中学校出身)	
2年	大澤 類家	亞矢 (第二中学校出身)
	坂 清富	鯉生 (世田谷区立船橋希望中学校出身)
	勇太朗 (三条中学校出身)	
	佐藤 戸田	仁紀 (白山台中学校出身)
	涼太 (相模原市立田名中学校出身)	裕樹 (下長中学校出身)

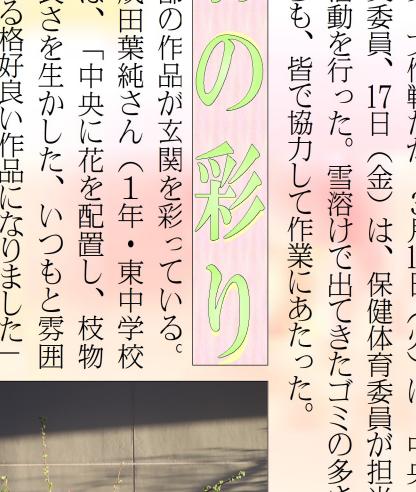
校內各種表彰

クリーンアツプ

本校が全校で取り組んでいる、学校周辺・田向地区のリーンアップ作戦だが、3月14日（火）は、中央、生活向上上、防災委員、17日（金）は、保健体育委員が担当し、アミ拾い活動を行った。雪溶けで出てきたゴミの多さに舌鼓しながらも、皆で協力して作業にあたった。

春の彩り

華道部の作品が玄関を彩っている。
部員の成田葉純さん（1年・東中学校出身）は、「中央に花を配置し、枝物の形、長さを生かした、いつもと雰囲気の異なる格好良い作品になりました」と今年度最後の作品に満足気だった。





春の彩り

華道部の作品が玄関を彩っている。部員の成田葉純さん（1年・東中学校出身）は、「中央に花を配置し、枝物の形、長さを生かした、いつもと雰囲気の異なる格好良い作品になりました」と今年度最後の作品に満足感だった。